

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

遺跡と共存する太陽光発電所が順調に稼働
～おおた鶴生田町太陽光発電所(古墳の周りに1,500KW)の発電実績を公開～

【群馬ー2014年5月8日】ーソーラーフロンティア株式会社(社長:玉井裕人、本社:東京都港区台場2-3-2、以下:ソーラーフロンティア)は、群馬県太田市が運営する全国で初めての古墳群内の太陽電池発電所である「おおた鶴生田町太陽光発電所」が順調に稼働していることをお知らせいたします。同発電所の設置に設置されたシステム(1,500kW)は、稼働後6カ月で約930,000Kwhを発電し、設置前想定発電量を25%上回りました。(日照時間等他の条件の変動分を含まない)



古墳跡の石室の背景に広がる CIS 薄膜太陽電池:

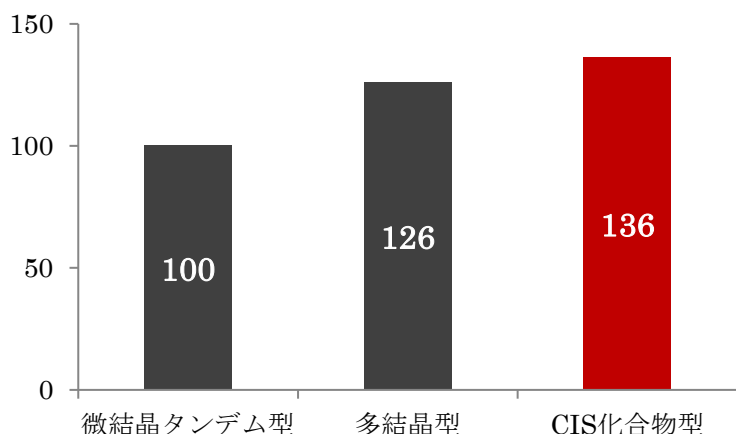
パネルのレイアウトや架台を工夫することで、歴史的遺跡の保護と用地の活用の両立を実現

太田市では太陽光発電の推進にあたり、市内の公園に3種類の太陽光発電システム(微結晶タンデム型、多結晶型、CIS化合物型)が設置されています。その中でソーラーフロンティアのCIS薄膜太陽電池の実発電量の高さが実証されました。太田市は、夏季に40℃以上を記録する同県館林市や埼玉県熊谷市に近接していることから、高温下でも発電量の低下が少ないCIS薄膜太陽電池の特長による高い実発電量が期待されています。

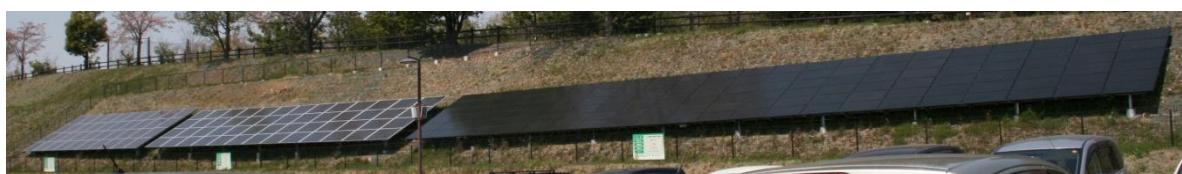
ソーラーフロンティアは、今後も太田市の「太陽光発電の推進による自然にやさしいまちづくり」をサポートすると同時に、多様な環境下でも優れた性能を発揮できるCIS薄膜太陽電池を日本全国にお届けすることで、全国の再生可能エネルギー普及に貢献してまいります。

以上

参考:太陽電池選定時の発電量比較:(微結晶タンデム型を100とした際の指数)



北部運動公園中央駐車場太陽光発電システムの1KW当たりの発電量(平成25年度) ※データ提供:太田市役所



北部運動公園中央駐車場太陽光発電システム

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社(5002, T)の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場(年産能力900メガワット)は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用し、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量(kW)あたりの実発電量(kWh)が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPvm 認証(JIS Q 8901)」などの第三者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞(製品・技術開発部門)、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。[公式 Facebook](#)、[公式 Twitter](#)と[公式ブログ](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:
ソーラーフロンティア株式会社 広報部
吉田・川村 TEL: 03-5531-5792